

山の日情報

(第 22 号)

令和元年8月29日

秋田県生活環境部
自然保護課

【活動記録】

当初の予定では、令和元年度のボランティア事業の1回目として、7月13日に森吉山の阿仁避難小屋の外壁塗装を予定していましたが、天候が悪く、残念ながら中止の決断をせざるを得ませんでした。雨男ではないはずなのですが…

天気に嫌われたことから代替の実施日を探していましたが、他の行事との兼ね合いもあり、苦慮していました。いろいろと相談の上、お盆前の連休ではありましたが、思い切って「山の日」8月11日に実施することに決定しました。苦肉の策ではありましたが、当日は社会人12名が参加をしてくれました。天気も、暑すぎず寒すぎずの作業日和です。

当日は阿仁ゴンドラを運行している「NPO法人森吉山」様のご厚意により、移動にゴンドラを使用させていただきました。参加人数が少ないため、作業場所までの荷物の運搬はなかなか大変でしたが、途中までゴンドラに乗って移動することができたため、大変助かりました。この場を借りて御礼申し上げます。

重い荷物に四苦八苦しながらも、ほぼコースタイムどおりに阿仁避難小屋に到着。準備に取りかかりますが、さすがこの日は山の日。多くの方が阿仁避難小屋の周辺を通り過ぎます。山の日に多くの方が山に親しんでいること、そして森吉山が多くの方に愛されていることが実感できました。

作業前の避難小屋は、外壁が乾燥しているほか、傷んでいるところもありました。山の中という、平地に比べて厳しい環境にさらされる避難小屋は、やはり傷みも激しいのでしょうか。傷んだ外壁は、自然公園管理員の佐藤澄夫さんと鈴木英雄さんが先頭に立って補修を行っていただきました。

他のメンバーは、ハケで外壁の塗装を行います。

高いところは手では届かないため、今年から導入した長く伸びる継ぎ柄をハケに装着し、塗装します。



(↑ 塗装前の避難小屋)



(↑ 避難小屋の脇を多くの方が通る)



(↑長い継ぎ柄を使った塗装)



(↑外壁の補修作業の様子)

長い継ぎ柄を使用すると、塗装の際にしなったり、塗料をつけ直すのが大変であったりと、扱いが難しいところもありますが、慣れるにつれてだんだんとスムーズに高所の塗装ができるようになりました。

人数は少ないながらも集中して作業を進め、お昼頃には全面を塗り終えることができました。作業の前後を比べてみると、避難小屋が少し若返ったかのようです。



(↑塗装後の避難小屋)

連休の中日にもかかわらず、ボランティア作業に参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。

また、この日は山の日ということもあり、作業場所を多くの登山者の方が通りかかりましたが、通りがかりに「お疲れさま」などの声をかけてくださる方も多く、大変励みになりました。

図らずもボランティア作業が多くの方の目に触れたことで、山の環境整備についてアピールすることができたのなら嬉しいです。

